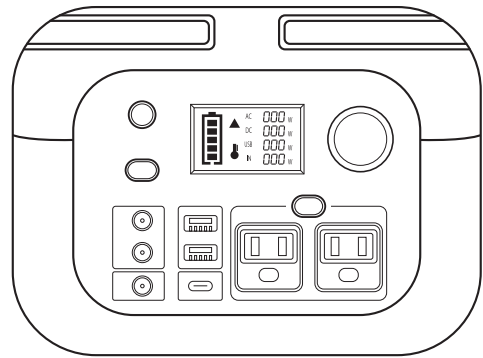


J-Voltage ポータブル太陽光発電機

ご利用の手引き



重要：本ユーザーマニュアルは、J-Voltage ポータブル太陽光発電機（AC 出力 100V～110V/60Hz）専用です。

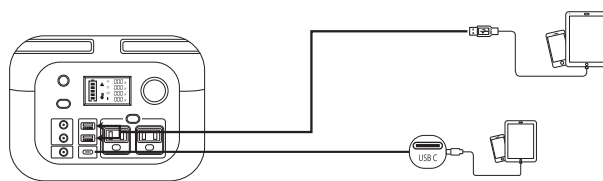
1

4) USB 充電の利用方法について

デバイスを本製品の USB 出力に接続し、本製品の電源スイッチを押すと電力供給が開始されます。LCD パネルに利用中のワット数が表示されます。

急速充電出力：本製品は、Qualcomm Quick Charge 3.0 出力（5V/3.1A）をサポートします（最大 9V/2A 供給が可能）。実際の出力電源はスマートデバイスに依存しますので、確認はメーカーにご相談下さい。

【前面】



5) フラッシュライトの利用方法について

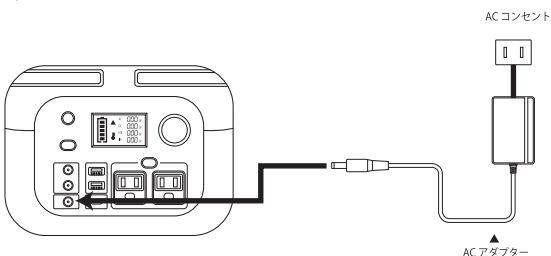
本製品には LED フラッシュライトが付いてきます。懐中電灯ボタンを押下することで、ライトが付きま。ボタンを 1 回押すと、ライトが付きま。2 回押すと点滅/SOS モード（に切り替わります。2 回押すと点滅のスピードが変わります。3 回目でオフとなります。WARNING! フラッシュライトを直視しないでください。

6) 本製品を充電する方法について

a. 家庭用 AC コンセントを利用する場合

付属の AC ケーブルを使用して、以下の図のように充電します。青い LED バッテリー表示が点滅しているときは、充電中です。充電が満タンになると点滅が止まります。速やかにコンセントを取り外してください。

【前面】



5

本製品について

本製品をお買い求めいただきありがとうございます。本製品は、停電やキャンプの時に、お持ちの電子機器を USB、DC、AC コンセントを差し込み、充電することができる優れたものです。ご利用前に、必ず取扱説明書を読んでいただき、また保証書にもなりますので、適切に保管してください。

注意

取扱説明書は、ハードウェア構成、ソフトウェアの設定について説明するものではありません。取扱説明書は保証書となりますので、紛失等には十分ご注意ください。

純正弦波出力 (350W/ピーク時 400W)

本発電機における電力出力は 350W（純正弦波）ですが、家庭用電源コンセントとしての長時間使用を想定しておりません。災害やキャンプ等での一時利用を想定していますので、ご理解の上、ご利用ください。

【1】製品仕様

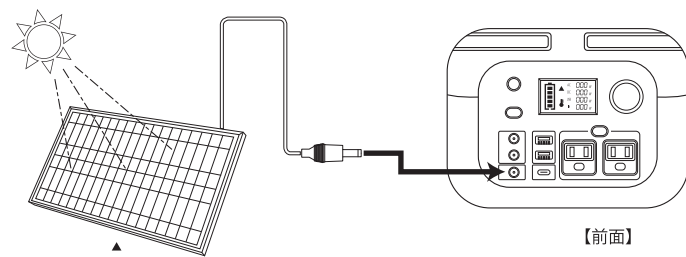
キャパシティ	8000mAh /296Wh
(奥行 × 幅 × 高さ)	220 x 165 x 160mm
重量	約 2.91kg
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
インプット充電	アダプター: DC 19V/3.42A ソーラーパネル充電: DC 12V - 25V/3.42A (最大)
充電時間	DC 19V: 約 8 時間
アウトプット出力	USB: 5V/3.1A USB-C: 5V/3.1A 9V/2A
Qi 機能 (ワイヤレス)	5W/2A
DC アウトプット (最大)	DC1: 12V/8A; DC2: 24V/3A
AC 出力	AC 出力は、100V～110V/60HzT
電球	LED フラッシュライト
キャパシティ表示	LCD パネル
稼働環境温度	-10℃ - 40℃ (14° F - 104° F)
ライフサイクル	>1000 回の充電
本体および付属品	発電機 x1/ AC アダプター x1 / シガーソケット充電ケーブル x1 取扱説明書

※ 予告なく変更する場合がございます。

2

b. ソーラーパネルを利用する場合

- ①ソーラーパネルを直射日光が当たる場所に置きます。
- ②ソーラーパネルの出力を本製品のインプットに接続してください。充電中は、LCD パネルのバッテリー表示が点滅します。フル充電の場合は、LCD パネルのバッテリー表示の点滅が止まります。



インプットソーラーパネル 21V-25V/4A

c. 車載シガーソケットで充電する方法について

本製品付属の充電ケーブルで、車載シガーソケットと本製品を接続すると充電が開始され、LCD パネルのバッテリー表示が点滅します。なお、充電規格は、12V、21-25V 専用のシガーソケットです。普通車は通常 12V、2 トン以上の大型車は 24V となります。フル充電の場合は、LCD パネルのバッテリー表示の点滅が止まります。

注意：車のバッテリーの電力低下を避けるため、車載シガーソケットで充電する間は、車のエンジンをかけた状態にしてください。

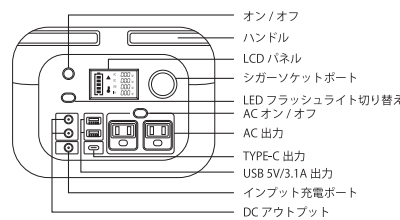
【4】注意事項など

- A) プラス極とマイナス極を直接接続すると発火することがありますので、金属類は近くにおかないでください
- B) 高温には注意してください。直射日光が当たる場所を避けて下さい。水没させてないで下さい。
- C) 埃や湿気には注意してください
- D) 本商品を分解しないでください
- E) 落下、強い衝撃にはご注意ください
- F) 本製品は製品の取り扱い事項を理解できる人が使うことを想定しています。子供が使うことを想定していません
- G) 本製品は子供の遊び道具ではありません
- H) タオルや服、それに相当するものをかけないでください
- I) 充電中は熱くなりますが問題はありません
- J) 既定の充電時間を超えないようにお願いします
- K) 満タン時はケーブルを抜いてください
- L) 電気ショックとならないようにご利用ください
- M) 廃棄する場合は、お住いの地域自治体にご相談の上、ご対応ください。リチウムイオン電池（18650）が、32本入っております。燃えるゴミ、不燃ゴミとしての廃棄は大変危険です
- N) 本製品は、緊急時のための利用に限定しており、自宅での通常生活利用としての製品ではございません

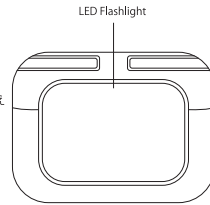
6

【2】製品機能

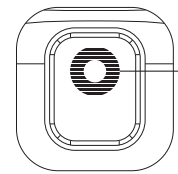
【前面】



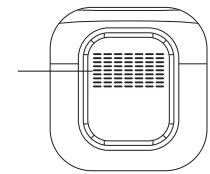
【裏面】



【左側】



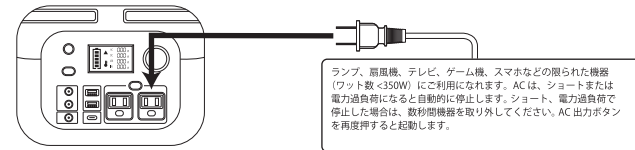
【右側】



3) AC コンセント利用方法について

電子機器を本製品の AC コンセントに接続し、本製品の電源スイッチを押して、「AC」ボタンを押すと AC コンセントをご利用になります。LCD パネルに利用中のワット数が表示されますので、350W を上限に利用するようお願いいたします。

【前面】



WARNING! 本製品は、日本国内向け商品ですので、海外での使用については想定していません。※ AC コンセントを利用していないときは、電源をオフにしてください。

3

【5】製品を長く利用するため

- a) -10 ～ 40 度までの環境で利用することができますが、10 ～ 30 度が推奨する環境です。
- b) 干渉を避けるため、テレビ、ラジオなどの近くで充電しないでください。
- c) 長期間使用しない場合は、ケーブルを外して保管してください。
- d) 製品（リチウム電池）の寿命を延ばすためには、3 ヶ月以内に充電してください。 ※6 ヶ月に一度は充電してください。

バッテリー情報

本製品に内蔵しているバッテリーは、取り外し不可の充電式バッテリーです。取り外しは大変危険です。バッテリーは 1000 回以上充電することは可能ですが、徐々に劣化していきます。

寒冷地域での使用について

低温（氷点下）は、バッテリー機能に影響を与える可能性があります。ご利用の環境に電力供給がない場合でかつ 0 度以下の環境でお使いの場合は、本製品の温度が落ちないよう、保温用カバン等に入れたうえで、ソーラーパネルに接続の上、充電してください。一定程度の温度を維持することにより、最大パフォーマンスを引き出すことができます。

リサイクル

本製品はリチウムイオン電池 32 本を使用していますので、地方自治体の指示に従い、廃棄してください。※リチウムイオン電池はリサイクルすることができます。

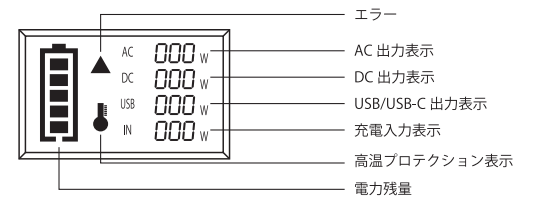
保証書	
お客様名	
住所	
電話番号	
Email	
お買い上げ日	年 月 日 ～ 1年間

1. 保証範囲

- (1) 30 日以内に初期不良が発生した場合は、無償での代替品との交換または修理をさせていただきます。但し、お買い上げ 1 年以内の保証期間内であっても、次に該当する故障の場合は保証対象外とさせていただきます。なお、代替品との交換または修理を行なった場合でも保証期間の起算日は対象製品の当初ご購入日とさせていただきます。
- ① 取扱説明書、別途取り交わした仕様書などに記載された以外の不適当な条件・環境・取り扱い・使用方法に起因した故障。
- ② 当社以外による改造、修理に起因した故障。
- ③ 取扱説明書、ユーザーズマニュアルなどに記載している消耗部品が正しく保守、交換されていれば、防止できたと確認できる故障。
- ④ 当社出荷時の科学・技術水準では、予見が不可能だった事由による故障。
- ⑤ その他、火災、地震、水害などの災害及び電圧異常など当社の責任ではない外部要因による故障。

7

【液晶パネル】

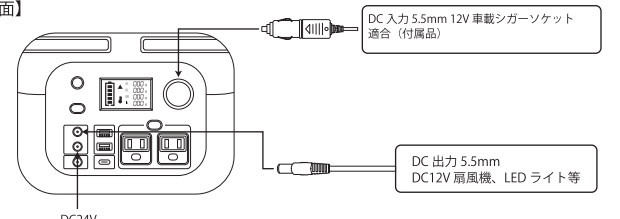


【3】使用方法について

1). DC 入力からの充電方法について

本製品への充電規格は、5.5mm 12V / 8A、24V / 3A です。供給元の電源が接続され次第、充電が開始されます。LCD パネルに充電中のワット数が表示されます。注意：充電する場合、DC ポート直径 5.5mm、電力 12V / 8A、24V / 3A をご利用ください。不明な場合は、メーカーにお問い合わせください。

【前面】



保護機能モード：

ショート / 過電力保護機能

(負荷電力 > 350W) の場合、本製品は、自動でシャットダウンします。過電力となったデバイスを特定して、外したうえで、既定の負荷電力内であることを確認し、本製品の電源スイッチをオンにしてください。

2). Qi 機能 (ワイヤレス充電) の利用方法について

電源をオンにしたうえで、Qi 機能で充電可能なデバイスを天井においてください。3 秒程度で、充電が開始されます。デバイスを外した場合は 20 秒程度で自動で停止します。充電が開始されない場合は、デバイス位置がずれていることを確認してください。※iPhone 8 以降やアンドロイド等、新しい機種は Qi 機能が具備されている場合があります。詳しくはメーカーの HP 等で直接ご確認ください。

保護機能モード：

短絡 / 過電力保護機能：AC 出力が短絡又は過電力（350W を超える）になると、本製品は自動シャットダウンとなります。また、冷蔵庫、レーザープリンタ等をご利用の際、特に起動時 / 再起動時にメーカーが規定するワット数を超える場合があり、本製品を利用できない場合がございます。起動時のワット数についてはメーカーにお問い合わせください。継続的に 350W を超えるデバイスや一時的にも 400W を超えるデバイスを接続した場合は、故障の原因になります。

4

(2) 保証範囲は上記 (1) を限度とし、対象製品の故障に起因するお客様での二次損害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）及びいかなる損害も保証の対象外とさせていただきます。

2. 適用用途

当社製品は、一般向けの汎用品として設計・製造されており、

従いまして、下記のような用途での使用は意図しておりませんので適用外とさせていただきます。

- ① 原子力発電、航空、鉄道、船舶、車両、医療機器等の人命や財産に多大な影響が予想される設備
- ② 電気、ガス、水道等の公共設備
- ③ 取扱説明書などで規定していない条件・環境での使用
- ④ 上記①及び②に準じる安全に関して高度な配慮と注意が要求される用途

3. 申請方法

申請する場合は、故障した理由、写真等を提示が必要ですので、メール (info@lands.info) でお問い合わせください。

FCC ステートメント (米国国内向け)

FCC Statement:

The operation meets the following two conditions:

- (1) The equipment will not cause harmful interference, and
- (2) The equipment must accept any interference received, including interference that may result in accidental operation.

Note: The equipment has been tested and meets the restrictions of Category B digital equipment in Part 15 of FCC Rules.

These restrictions are designed to provide reasonable protection against harmful interference in housing installation.

This equipment will generate, use and radiate radio frequency energy. If it is not installed and used according to the instructions, it may cause harmful interference to radio communication. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the device does cause harmful interference to radio or television reception (which can be determined by switching off and switching on devices), users are advised to attempt to correct the interference by one or more of the following measures:

- Re-adjusting or placing the receiving antenna.
- Increase the distance between the device and the receiver.
- Connect the device to a different circuit outlet from the circuit connected to the receiver.
- Consult distributors or experienced radio/television technicians for help.

All rights reserved. Without the written permission of the Company, no unit or individual may copy or reproduce part or all of the contents of the book without authorization, and may not disseminate them in any form. Other trademarks appearing in this manual shall be owned by their respective owners. Due to product version upgrade or other reasons, the contents of this manual will be updated from time to time. Unless otherwise agreed, this manual is only for use guidance. All statements, information and suggestions in this manual do not constitute any express or implied guarantee.



8